

令和 3 年 3 月 吉日  
駒の学び舎  
世田谷区立駒沢中学校  
校 長 梶田 和明

## 令和 3 年度に向けた改善方策

- 1 「e-ラーニング等タブレット・ICT活用状況に対する保護者の理解を促進する取り組み」について
  - (1) 一人一台のタブレット端末を授業内で効果的に活用し、その様子を学校ホームページや学校だより・学年だより等で積極的に情報発信する。
  - (2) e-ラーニングアプリケーションが令和 3 年度より新たなアプリケーションに変更されるので、各教科や各学年で使い方を習熟させる機会を設定する。また、定期考査計画表に「e-ラーニング活用状況」を記入する欄を設けるなど、積極的な活用を促していく。
- 2 「コロナ禍における感染防止及び衛生環境の向上に努め、さらなる安全・安心の学校経営・運営に努めること」について
  - (1) 令和 2 年度に積み重ねた経験をいかして感染防止策を継続させる。特に、給食用パーテーションは新たなものを購入し、今年度同様に使用する。
  - (2) 集会や生徒同士の交流の機会については、校内Wi-fi環境をいかしてzoom等ICT技術を効果的に活用しながら、前年度より増やしていく予定である。
- 3 「今後も保護者・地域の方の来校機会が制限されることをふまえ、一層の情報発信と共有に努めるとともに、特に 1 年生の生徒・保護者については不安解消の手立てを講じていく」について
  - (1) 生徒へのガイダンス機能充実を図るために、今年度より 4 月に担任との二者面談を行う予定である。また、夏季休業中にはこれまで通り生徒・保護者・担任との三者面談を行う予定である。そして、日頃から随時生徒との対話の機会を多くもてるように働きかける。これらの機会を通して、生徒・保護者との信頼関係を醸成し、不安解消に努める。
  - (2) 参加人数を制限せざるをえない行事等については、別室で動画視聴できる機会を設定したり、活動の様子を期間限定で動画配信すること等を通して、情報発信のあり方を工夫していきたい。